

2018年(平成30年)5月23日(水曜日)

言宣

薬科大 歴史語る資料室

明治期辞書や生薬標本展示



貴重な生薬標本などが並ぶ「愛学
躬行歴史資料室」(山科区で)

京都薬科大(山科区)で、
1884年(明治17年)の
創立から集められてきた貴
重な資料や生薬標本を展示
する「愛学躬行歴史資料室」
が完成し、22日、関係者に
披露された。

同大学は明治時代、府に
雇われたドイツ出身の教師

ルドルフ・レーマン氏の薫
陶を受けた門下生が、西洋
の医学・薬学の修得を目的
に設立した京都私立独逸学
校が前身。ドイツ語のほか
物理、化学などの薬学関連
科目も教えるようになり、
私立京都薬学校、京都薬学
専門学校を経て、1949

年に京都薬科大となった。
資料室には、1877年
にレーマン氏が校訂した日
本初の和独辞典を展示。見
出し語はローマ字にカタカ
ナが添えられている一方、
並びはアルファベット順で
はなくいろは順で、明治期
の外国語辞書のあり方を知
る上で貴重な資料という。

また、京都私立独逸学校
創立時の試験成績簿のほ
か、イツカクの牙やマッコ
ウクジラの腸結石など、珍
しい生薬標本60点なども
並ぶ。後藤直正学長は「20
代の学徒が原点を作り上
げた大学。明治時代の息吹
を感じてもらえれば」と語
った。

開館日時は不定期。見学
希望、問い合わせは同大学
同窓会「京薬会」(075
・595・4621)。